柴田安彦の市政報告

No.618　２０１５，１２，２７　【隔週発行】

発　行　蒲郡市議　柴田安彦　（無所属）

蒲郡市清田町沖田５８番地１　TEL/FAX ６７－６９６４

ホームページ　http://yas.sub.jp

Eメール　yas@xk.sub.jp　ブログ　http://blog.yas.sub.jp

議会は行政の監視役＝嘘の答弁は許されない

情報公開制度の信頼も失墜

公開請求した文書をあとで工作したことは明らか！

生命の海科学館元館長の出勤簿が実態と異なる点について、市は決算委員会で調査を約束していました。しかし調査報告がなかったため、12月議会の一般質問で質しました。

市は「出勤簿は館長室に置かれ、３月末に１年分をまとめて機械的に月、水、金曜日に押印したため、違いが生じた。タイ、大牟田への出張は私的なもので、出勤は誤り。指摘のあった４月から７月の水曜日、葬儀の日は出勤していない。決算委員会で、出勤簿のとおり出勤していたという答弁には誤りがあった。欠勤に該当する13日分について給与の返還を求めたい」などと答えました。

また、調査方法は「当時の情報ネットワークセンター長から顛末書の提出を求め、元館長、科学館職員から聞き取りをした。講座やワークショップのあった日に出勤していたか等を確認して出勤日数を確定した」と答えました。

柴田が情報公開請求をした５月15以降に、元館長から認印を送ってもらっているのではないかとの問いには「承知していない」と答えました。

出勤日に印を押すだけの出勤簿では、出退勤時刻の確認はできません。タイムカード・ＩＣカードなどにより勤怠管理をすべきだとの問いには「まず、出勤簿管理を徹底する。ＩＣカードは利便性には優れているが、多くの費用がかかるので効果を考えながら研究をしていきたい」と消極的な

柴田が出勤簿等の公開請求(5/15)した以後のメールから抜粋	
5/16	元センター長から元館長へのメール「出勤簿の整理について」
	忌引きに当たるご不幸があれば**特別休暇を申請できますので教えて下さい**。11月～3月で。
	添付の出前事業の**集計以外で出張があれば教えて下さい**。例えば事前打ち合わせ等です。
5/16	元館長から元センター長へのメール（上記メールの返信）
	この間、葬儀はありません。
	出前授業等を付け加えました。**愛知教育大学への調査は、何回でも増やすことができます**。
5/20	元センター長から科学館職員へのメール（上記メールの転送）
	前館長から資料が届きましたので転送します。**足りないところがあれば連絡ください**。
	前館長の**認印については補佐宛に郵送する**ようお願いしてあります。

答弁に終始しました。

柴田は調査の不十分さを感じ、顛末書、職員のメールなどについて情報公開請求をしました。（公開文書は柴田安彦のホームページでご覧下さい）

公開された顛末書等からは、全ての出勤認定日に客観的な根拠があるわけではないことが分かりました。機械的に押印した出勤簿は根拠にならず、元館長が出勤したと申し出た日に、出前講座などで出勤を確認できる日を加えたものがベースとなっています。

また、今回公開されたメール（別表）から、情報公開請求日翌日に特別休暇該当日や集計表にない出張等を問い合わせ、元館長から追加のリストが返信されていることが分かります。柴田の請求により7月に公開された出前講座等の一覧には、このリストが追加されています。

さらに5月20日のメールでは、館長に認印を郵送してもらうよう手配したことが伺えます。

市は、一般質問発言通告の5日後に、職員の処分を発表しました。その概要では「出勤簿の管理などにおいて、管理監督者としての適正に欠けた」としています。

出勤簿の管理問題にとどまらず、情報公開請求を受けた文書を工作していることこそ重大問題です。公開請求後の行動から、決算委員会では承知で嘘の答弁をしたことは明らかです。元館長から送られた認印が何に使われたのかも明らかにされていません。

情報公開条例の目的は、「市政に対する市民の理解と信頼を深め、公正で民主的な開かれた市政の発展に寄与すること」です。今回の対応は、公開制度そのものの信頼性を失墜させるものであり、議会としても見過ごすことはできません。

どんなことでも相談を
無料・生活相談所

生活・年金
医療・環境・法律
サラ金・税金など
柴田安彦　清田町沖田58-1　TEL67-6964

双眼鏡

あっという間に一年が過ぎゆく年齢となったか、はや10大ニュースや流行語大賞が話題を呼んでいる。今年の漢字は「安」だそうだ。

自身の名前でもあるが、安部首相、安全保障や不安の安だと言われると喜んでばかりもいられない。電話で名前の漢字を問われた時には「安っぽいの安です」と答えている。

選挙の公約には「誰もが安心して暮らせる蒲郡」「公平でムダのない市政」を掲げた。今議会の一般質問は連続120回目となった。市民が期待する議会の役割を果たすため、新年からも精いっぱい活動する決意だ。